

# 2023年 10月 品目別状況

(切花)

2023年 9月 29日現在

品目名	状況
大菊	上旬は、黄大が多く、白大が少ないが、中旬から黄大が減り白大が多くなっていく。神馬の出荷が増えてきて、一世と神馬の2品種が主流となる。
小菊	中旬まで入荷は少なめで、下旬からの沖縄産が出てこないと思えない。
SP菊	国産については、出荷が増えてくるが、色の偏りがあるかも。沖永良部の出荷が始まり10月中には離島の出荷が増えてくる。輸入品は、減少傾向。
カーネーション	SP・STとも輸入品中心の入荷で、国産品は早く10月末からの出荷となる。
バラ	地元は、10月中は少ないが、福岡産の出荷が中旬から増えてくる。
トルコ桔梗	10月いっぱいには熊本(阿蘇)産が中心となるが、他産地からの出荷も始まっていく。
オリエンタルユリ	新潟産がまだまだ中心となるが、地元の入荷量も増加傾向になる。上旬は、丈の短い物も見られるが、徐々に長くなっていく。
LAユリ	この時期の生産が少なく、熊本・新潟中心で、地元が下旬からの出荷。
カスミ草	熊本産が中心となる。地元が下旬からの出荷
その他	りんどう・岩手・熊本産中旬ぐらいに終了 ダリア ・・県内産中旬ぐらいから出荷(花の状態次第)

( 鉢 物 )

品 目 名	状 況
ラン類	地元の胡蝶蘭は、上旬が少なめで下旬に向けて増加傾向。 県外産は、ミディを含め10月いっぱいには少ない。 シンビジュームは、10月は気温の影響での咲き方を見てからの出荷。
苗物	野菜苗が中心での入荷となり、花苗は、下旬あたりからビオラなどの秋苗が出てくる。(暑さの影響で遅れ気味)
花鉢	マム中心の入荷となり中旬からF1のシクラメン、下旬からポインセチアの出荷が始まり夏商品と秋商品との入れ替えとなる。 (暑さの影響で遅れ気味)
観葉	小鉢等の出荷は、上旬が減少し下旬に向けて増えてくる。 指宿の観葉については、1週間おきの入荷となるが、商品のバリエーションは変わらない。